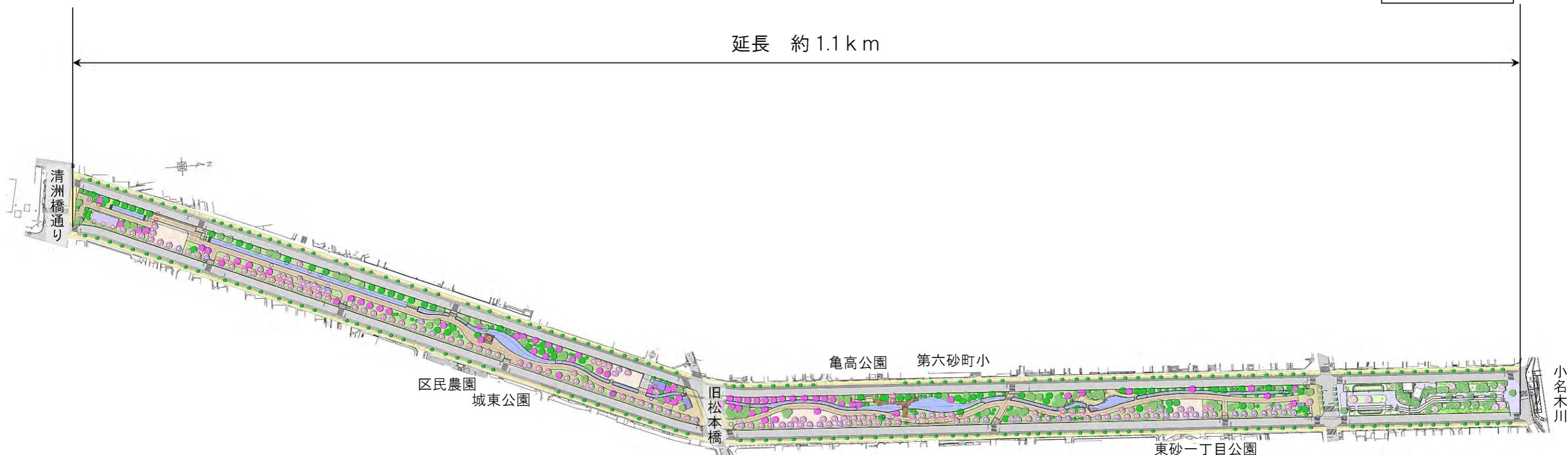


資料



### 整備コンセプト

- ①親しみやすい水路と実感できる緑道の創出
- ②道路の安全性の向上
- ③自転車通行増加への対応

### 仙台堀川公園整備計画（案）説明会

場所：砂町文化センター 第二研修室  
日時：平成28年4月24日（日曜日）  
午前10:00～

## 仙台堀川公園 基本設計

平成28年4月24日

江東区 土木部 河川公園課

## 現況と基本設計の断面比較

### ■水路

東側に片寄せとなっている水路は、道路の拡幅により移設が必要なことから、全面的に付け替える。人が近づける様に転落防止は低木植栽を基本として、極力防護柵を避け親水性を高める。

### ■基盤造成

道路は家屋が隣接することから、路面レベルは変更しない。公園内は、盛土により植生基盤を確保するが、視線の通りに配慮する。

### ■植栽

基盤条件からシイ・カシ類の常緑樹種と、象徴的存在であるサクラを主体とする。ただし、自然を基調とする日本庭園を意識して、四季の変化に富む落葉樹種を多用する。

### ■外周形態

車両の逸脱防止が必要となるが、道路側から視線を通すため、腰高の石積み擁壁を基本とする。

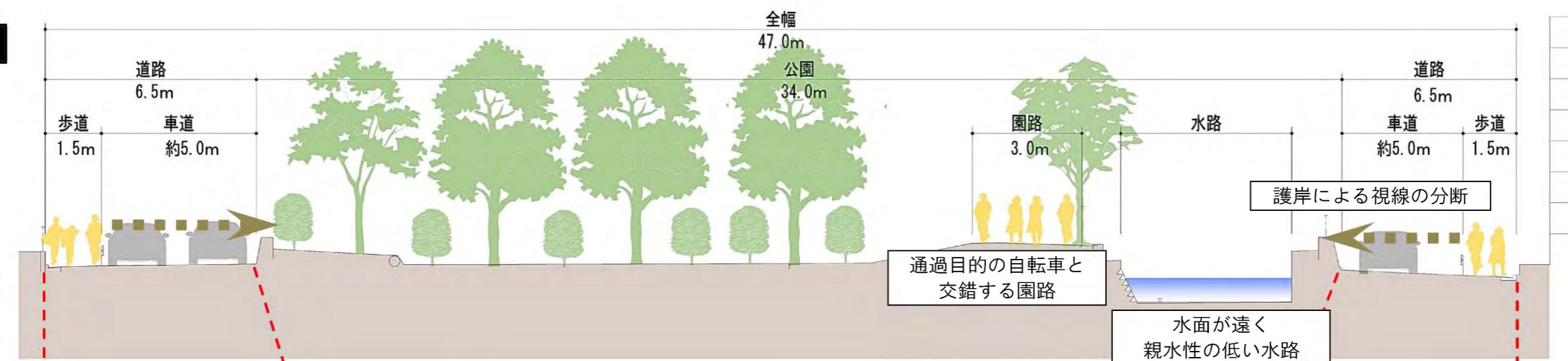
### ■隣接する公園との連携

城東公園や亀高公園などの隣接する公園と仙台堀川公園は、公園側や道路側の植栽帯を割愛するなど、広い舗装空間とすることで、イベント活用などの一体的な利用に対応する。

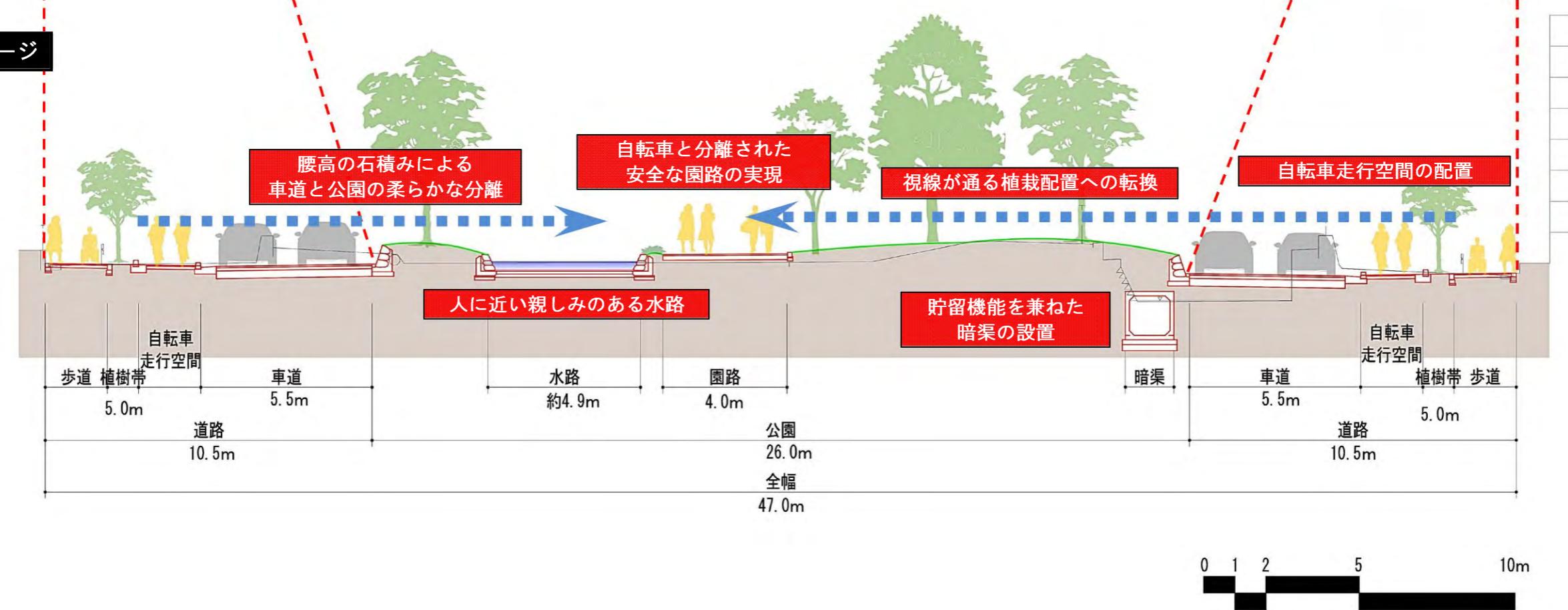
### ■自転車交通の分離

ゆったりした散策路とするため、公園内は歩行者を基本とする。自転車走行空間は、道路区域に設置する。

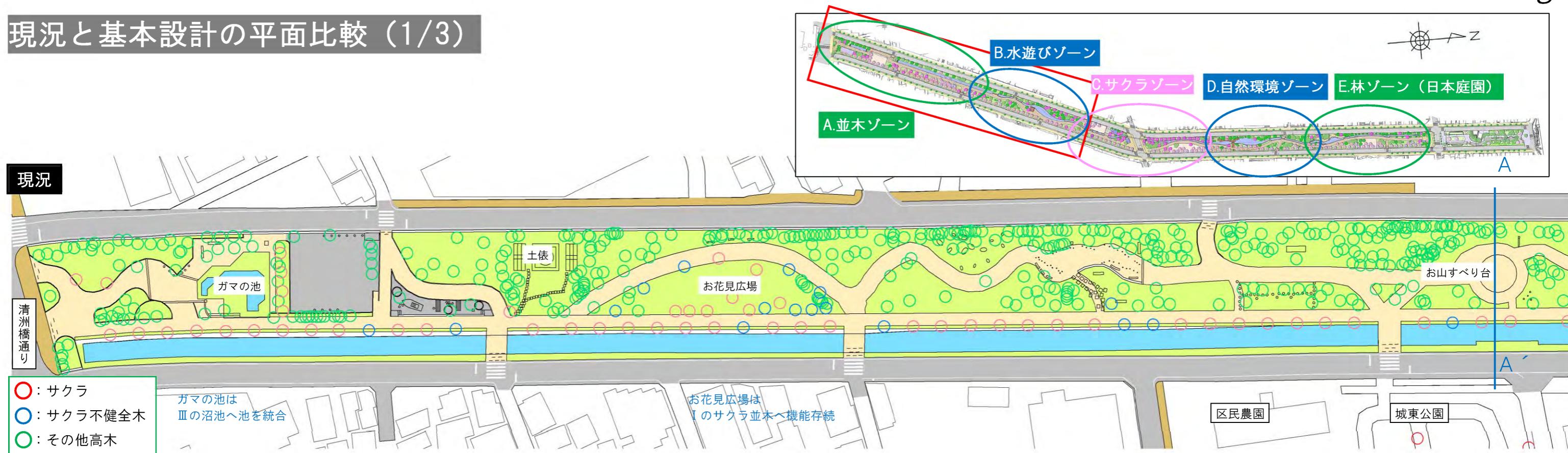
現況断面イメージ



基本設計断面イメージ



## 現況と基本設計の平面比較 (1/3)



### A.並木ゾーン：直線的な並木道による引き締め

- ・仙台堀川公園を通して展開される自然基調の曲線園路との対比として、直線的な園路と水路をこの区間に設けることで、整然とした空間を創出し、多様に展開する全域の空間をここで格調高く引き締める。
- ・これに合わせて、園路に並行した走路を設けて公園利用の多様性を図る。

### ⑤走路

- ・細長い敷地形状を活かして、しっかり走れる走路を用意する。
- ・本格的な走路を整備して公園利用の幅を広げ、リクリエーション活動に寄与する。

### ⑦直線水路

- ・水を基調とする公園であり、様々な水の姿を見せることが重要であって、ここでは歴史的な運河のイメージを整形的な水路を整備することで具現化する。

### B.水遊びゾーン：開放的な水遊び場への進化

- ・親水性の体现する水遊び場を配置する。
- ・イベントの開催にも配慮して、城東公園との連携を目指し、一体となった広場空間を確保する。
- ・水辺空間での休憩や、子どもの水遊びを見守れるように、四阿とデッキテラスを設置する。

## 基本設計

- ①ポンプ室（水質浄化施設）**  
・上流からの河川水を浄化し地上に流す施設を設置する。

○: 既存樹木（サクラ）  
●: 既存樹木（その他高木）  
■: 新植樹木（サクラ）  
■: 新植樹木（その他高木）

- ③土の広場**  
・軽運動のための空間として土系舗装による広場を整備する。  
・夏の盆踊り大会の会場として活用する。  
・一時避難場としても機能する。

- ④園路**  
・緊急車両の通行に配慮して、幅員は4mを確保する。

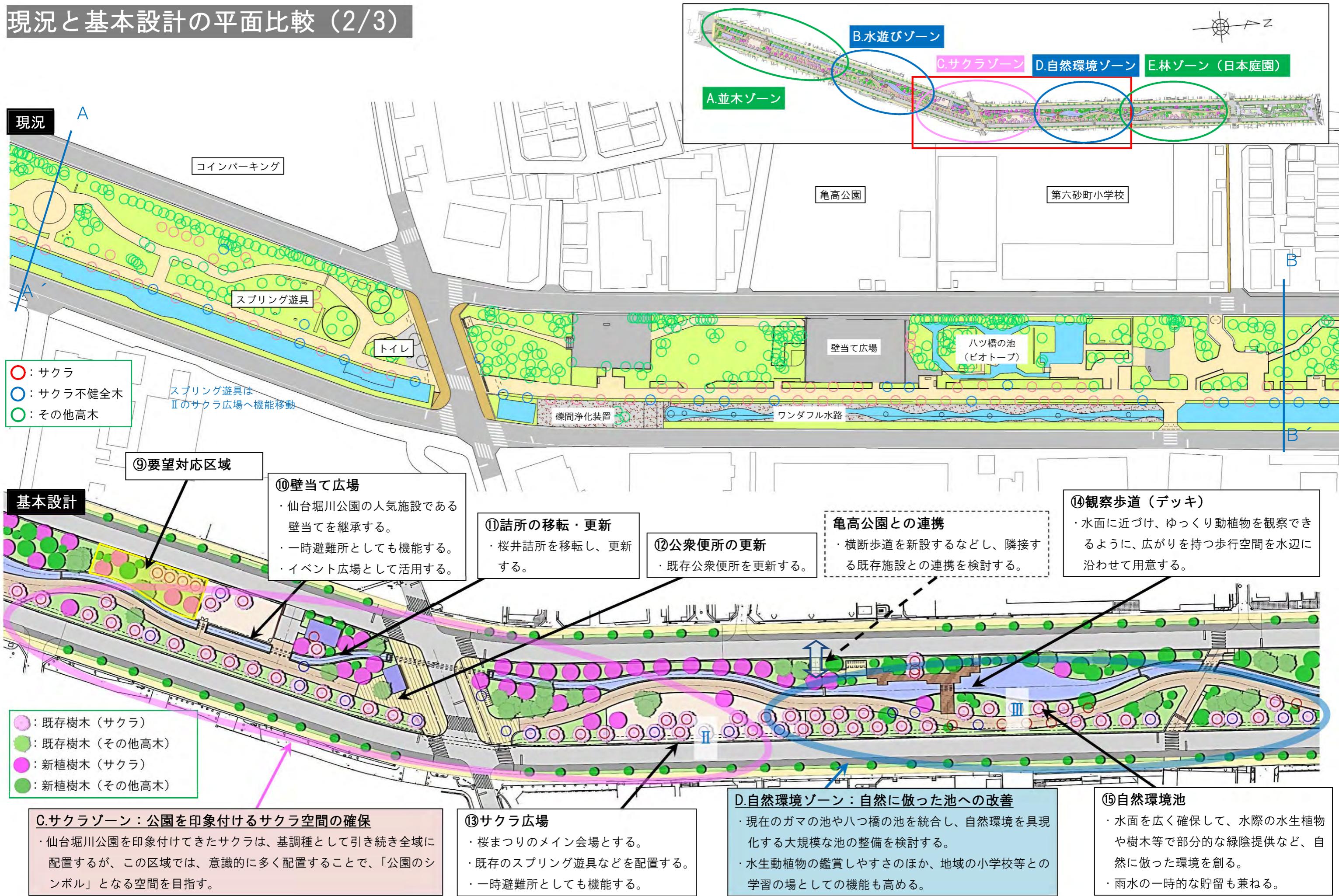
- ⑥サクラ並木**  
・直線の並木道には、既存のサクラ並木を極力残して等間隔にて整然とサクラを配置し、サクラ広場と対称的な形でサクラのシンボル性を強調する。

- 城東公園・区民農園と連携**  
・公園側も植樹帯を割愛するなど、広い舗装空間とすることで、イベント空間としての活用に対応する。

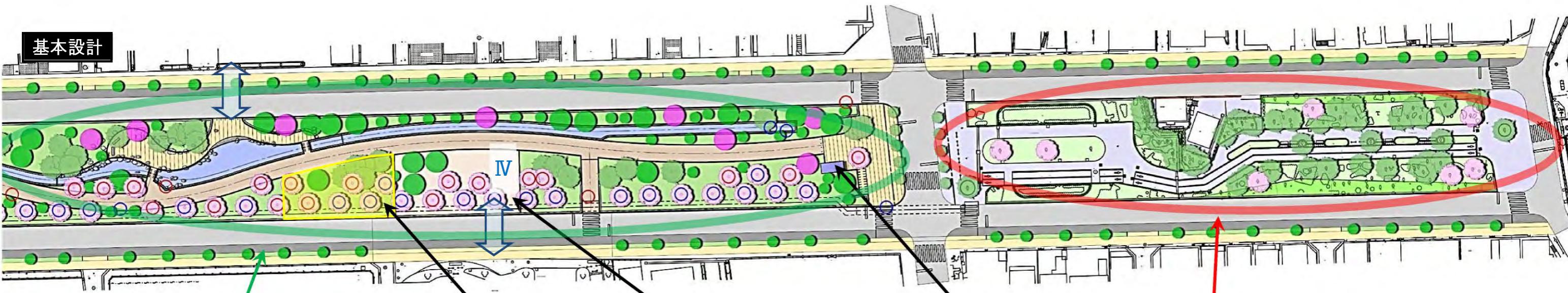
- ⑧徒渉池**  
・子どもの水遊びを想定して、水に入って遊べるように水深を浅くすることで、安全な空間とする。  
・江東区民まつり砂町地区大会の金魚・どじょうすくい大会の会場として活用する。

### ②要望対応区域

## 現況と基本設計の平面比較 (2/3)



現況と基本設計の平面比較 (3/3)



## E.林ゾーン（日本庭園）：設えの変化としての日本庭園

- ・公園の設えの変化として、緑豊かな日本庭園を配置する。
  - ・主動線とは独立した静かで落ち着いた空間によって、散策や休憩の空間を目指す。
  - ・雨水の一時的な貯留も兼ねる。

## ⑯要望対応区域

⑯土の広場

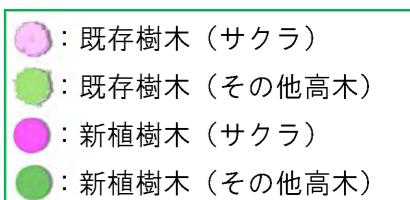
- ・東砂一丁目公園と連携した空間を確保する。
  - ・多様な利用に対応する。
  - ・既存の遊具や健康遊具を設置する。
  - ・一時避難場所としても機能する。

## ⑯公衆便所の更新

- ・既存公衆便所を更新する。

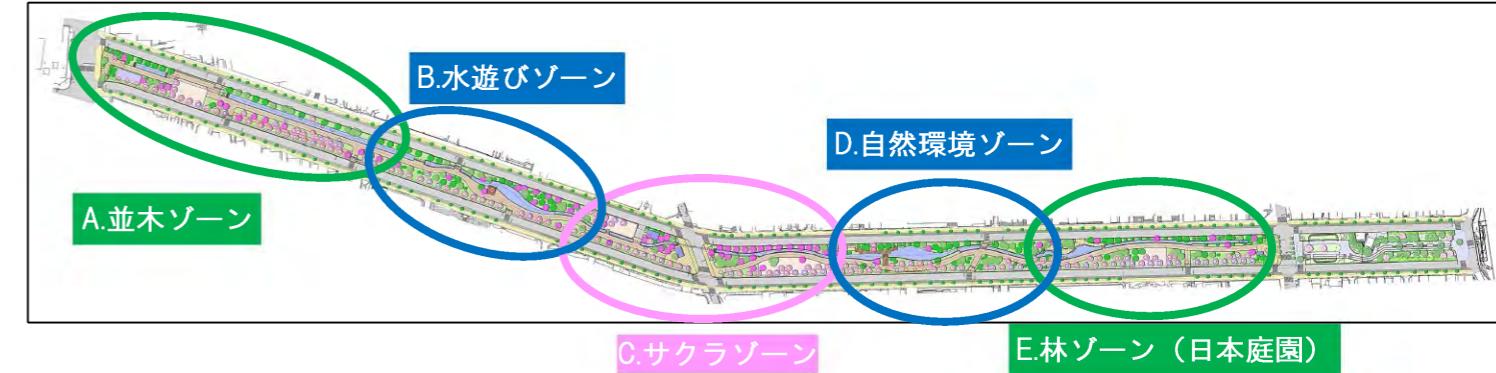
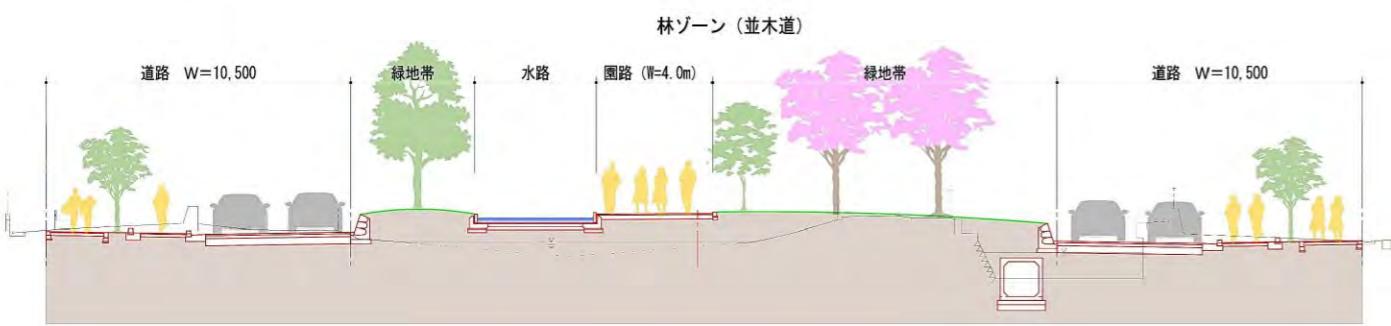
## 道路整備に伴うわずかな改修

- ・基本的には現況のままとする。
  - ・道路拡幅に伴い、境界部を他エリアと同様に仕上げる（若干の切土造成を伴う）。

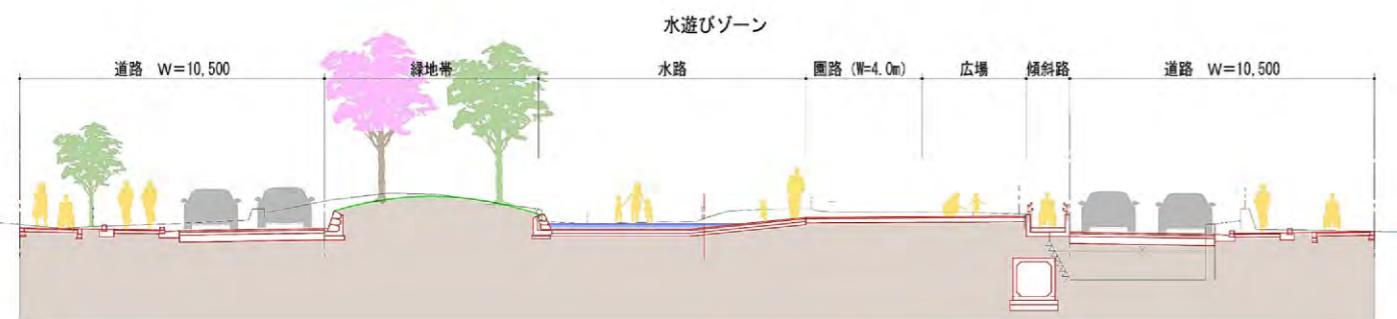


## 各ゾーンの断面図

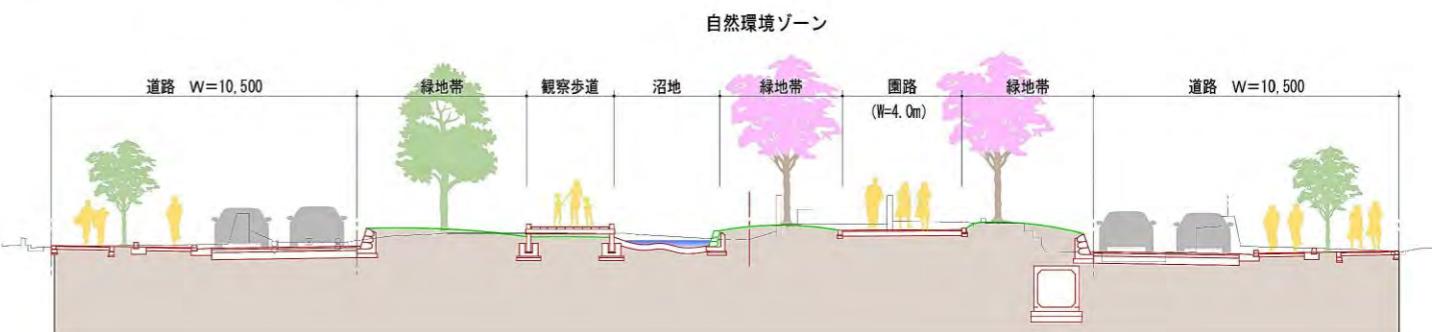
A.並木ゾーン



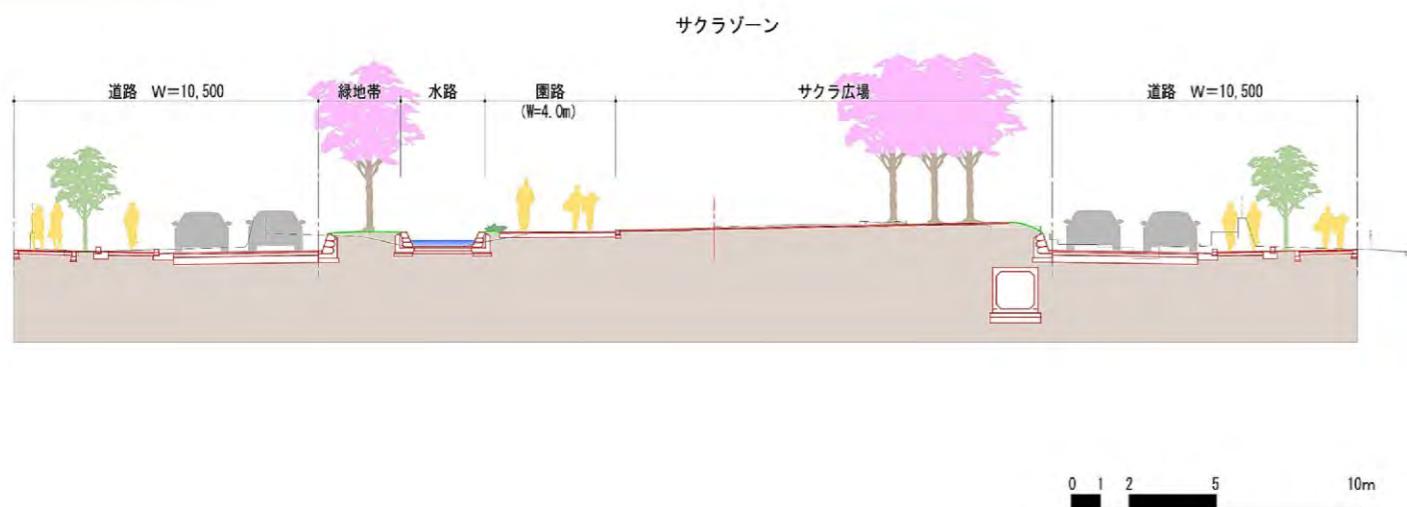
B.水遊びゾーン



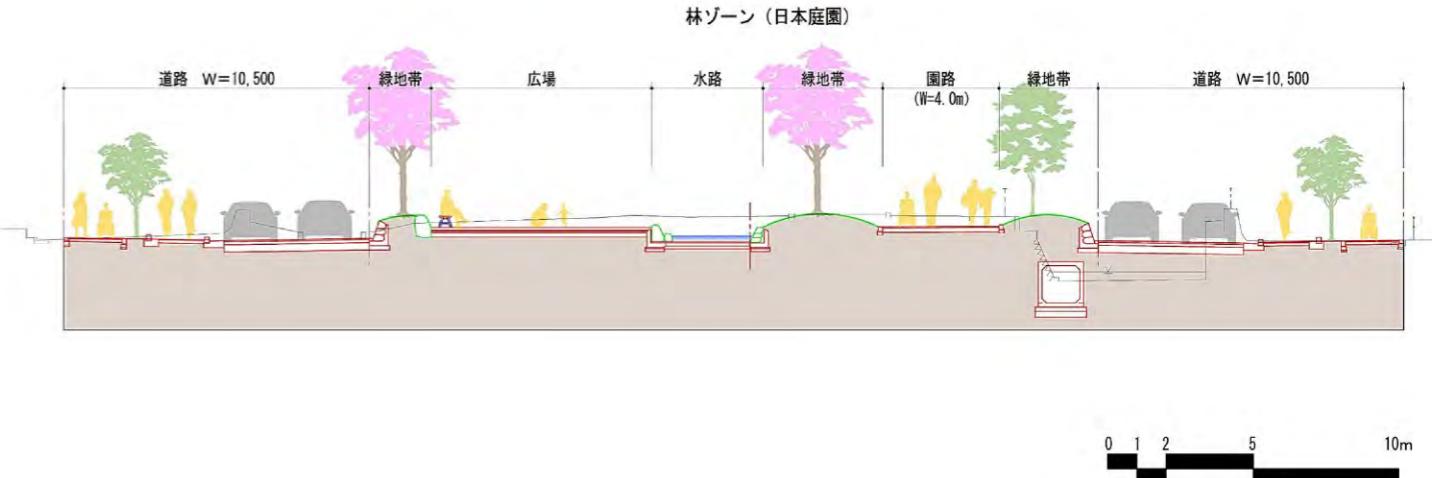
D.自然環境ゾーン



C.サクラゾーン



E.林ゾーン（日本庭園）



参考資料





自然観察池



日本庭園



土の広場



車道側イメージ

イメージパース